

## #-96 Server machine down or not responding.

次のようなエラーメッセージが出ます。

```
moe: Can't check out license 'moe 2020.09':  
Server machine down or not responding (-96)
```

このエラーは「Server machine is not responding.」のとおりサーバーマシンが応答していないことがわかります。前提として、ライセンスサーバーでライセンス管理システムが動いている必要があります。ライセンス管理システムが実行されていない場合、マニュアル等を参考にして起動する必要があります。まずはライセンスサーバー上で MOE または moebatch が動くかご確認ください。もしくは他の利用者が MOE を起動できることをご確認ください。

このエラーの原因は次の事柄が考えられます。

- I クライアントマシンから MOE ライセンスサーバマシンの名前が認識できない。
- II クライアントマシンと MOE ライセンスサーバマシン間のネットワーク経路が遮断されている。

### I の場合

クライアントマシンから MOE ライセンスサーバを認識させる方法は 2 つあります。

#### 方法 1.

DNS サーバに MOE ライセンスサーバ名を登録する。

ネットワーク管理者に、MOE ライセンスサーバを登録するように申請してください。

#### 方法 2.

クライアントマシンの HOSTS ファイルに MOE ライセンスサーバを登録する。

1. Administrator 権限をもつユーザでログインします。
2. 下記の場所にある hosts ファイルをテキストエディタで開きます。

・ Windows の場合

C:\Windows\system32\drivers\etc\hosts

3. hosts ファイルを編集する。

hosts ファイルに MOE ライセンスサーバ情報を 1 行追加します。

```
192.168.1.10 server01
```

※ここでは、「IP アドレス: 192.168.1.10 ライセンスサーバのマシン名: server01」としています。

通信の確認方法は以下を参照して下さい。

#### 1. コマンドプロンプトの起動

- ・ Windows の場合

スタート > すべてのプログラム > アクセサリ > コマンド プロンプト

#### 2. ping コマンドによるライセンスサーバとの通信確認

コマンドプロンプト内で以下のようにタイプします。

```
C:¥>ping serer01
```

※serer01 の部分はライセンスサーバのマシン名を入力して下さい。

もし、正常にライセンスサーバを認識できていれば以下のような応答があります。

```
C:¥>ping serer01
```

```
Pinging serer01 [192.168.1.10] with 32 bytes of data:
```

```
Reply from 192.168.1.10: bytes=32 time<10ms TTL=128
```

```
Reply from 192.168.1.10: bytes=32 time<10ms TTL=128
```

```
Reply from 192.168.1.10: bytes=32 time<10ms TTL=128
```

```
Reply from 192.168.1.10: bytes=32 time<10ms TTL=128
```

```
Ping statistics for 192.168.1.10:
```

```
Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
```

```
Approximate round trip times in milli-seconds:
```

```
Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms
```

ping コマンドによるライセンスサーバの認識が正常に行われていても、同じエラーが発生する場合は、II の場合を参照してください。

サーバー名で通信できない旨の結果が得られたら、サーバー名で通信ができないということになります。サーバーの IP アドレスで同様に ping コマンドで通信できるかご確認ください。

もし IP アドレスで通信できたら、

ライセンスファイルにおいてサーバー名の記載されているところを、IP アドレスに変更することで問題解決する場合がございます。

※クライアントマシンのライセンスファイルのみを書き換えます。

書き換え例

SERVER 192.168.1.10 MAC アドレス 7788

USE\_SERVER

```
DAEMON chemcompd $MOE/bin/chemcompd PORT=7790 FEATURE moe chemcompd 2020.08 . . .  
略 . . .
```

サーバーとクライアントのライセンスファイルの記述は必ずしも同一である必要はありません。つまり、ライセンスサーバーの license.dat の 1 行目はサーバー名であってもクライアントマシンの license.dat の 1 行目は IP アドレスであっても構いません。

IP アドレスで通信できたら、IP アドレスに書き換えたライセンスファイルで MOE が起動できるかご確認ください。

以上で解決できれば、この設定でご利用ください。

解決できない場合、他によくある原因として、ポート間通信ができていないために起こっているエラーの可能性がります。

ping で通信の確認はできたけれど MOE が起動しない場合は次にポート間通信ができるかをご確認ください。

MOE で使用するポートはライセンスファイルに記載されているポート番号です。

例：(ライセンスファイルの上から 2 行)

```
SERVER hostname 00b0d0249999 7788
```

```
DAEMON chemcompd $MOE/bin/chemcompd PORT=7790
```

このとき

lmgrd はポート 7788 を使い、chemcompd は 7790 を使います。

お送りいただきましたライセンスファイルでもこれらのポートが設定されております。

ご利用の PC (クライアントマシン) からサーバーマシンに対して通信できることをご確認ください。

たとえばライセンスサーバー名を hostname とし、7788 ポートの接続を確認するにはクライアントマシン (windows) で PowerShell を起動し次のように入力します。

```
PS C:\> Test-NetConnection -ComputerName hostname -Port 7788
```

```
ComputerName      : hostname  
RemoteAddress     : 172.216.173.97  
RemotePort        : 7788  
InterfaceAlias    : VPN Lifescience9  
SourceAddress     : 192.158.100.18  
TcpTestSucceeded : True
```

通信できれば、

TcpTestSucceeded : True

となります。

同様にポート 7790 もチェックします。

Linux や Mac でしたら telnet で確認できます。

クライアントから telnet を使ってチェックします。

まず lmgrd の port number 7788 の通信をチェックします。

サーバー名で通信できる場合、

```
telnet hostname 7788
```

IP アドレスでしか通信できない場合は「hostname」の部分を IP アドレスに置き換えてチェックしてください。

通信できたら次のような表示になります。

```
Trying 123.11.123.11 ...
```

```
Connected to hostname.
```

```
Escape character is '^['.
```

```
q^CConnection closed by foreign host.
```

通信できない場合、次のような表示になります。

```
$ telnet hostname 7789
```

```
Trying 123.11.123.11...
```

```
telnet: connect to address 123.11.123.11: Connection refused
```

```
telnet: Unable to connect to remote host
```

ポートを介した通信に問題があった場合は、これらのポート開放の手続きを行う必要がございます。

サーバー自身でポート制限している場合とネットワーク環境による制限があります。

前者が原因ならば、ファイアウォール設定をご検討ください。

後者が原因ならば研究室でネットワーク機器を管理されている方かネットワーク管理者にご相談ください。

## II の場合

セキュリティソフトや Windows ファイアウォールなどでライセンス認証に必要なネットワーク経路が遮断されている場合があります。セキュリティソフトの更新や、Windows Update 後に各設定が初期化されてライセンスエラーが発生するようになることもあります。下記項目をご確認ください。

### 1.

セキュリティソフトによる通信ポートの遮断

セキュリティソフトのマニュアルを参照し、下記の実行ファイルの通信を許可するように設定を行ってください。

クライアントマシン： moe, moebatch

サーバマシン： moe, moebatch, chemcompd, lmgrd

MOE/smp を利用しているマシンについては、上記に加えて rexecd の通信を許可してください。

## 2.

Windows ファイアウォールによる通信の遮断

Windows ファイアウォールの設定方法を参照して設定を行ってください。